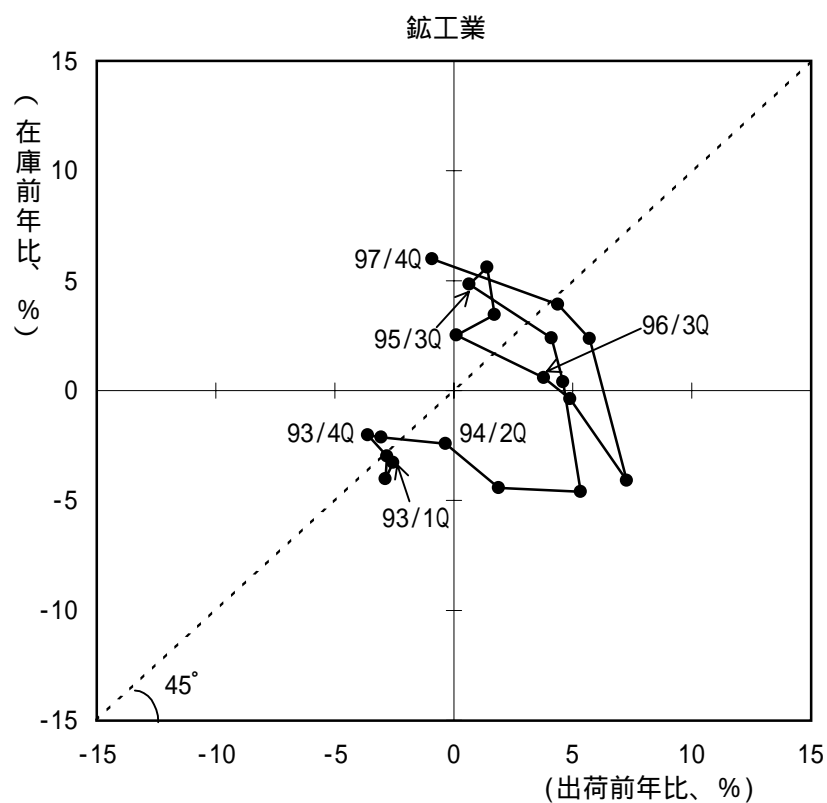
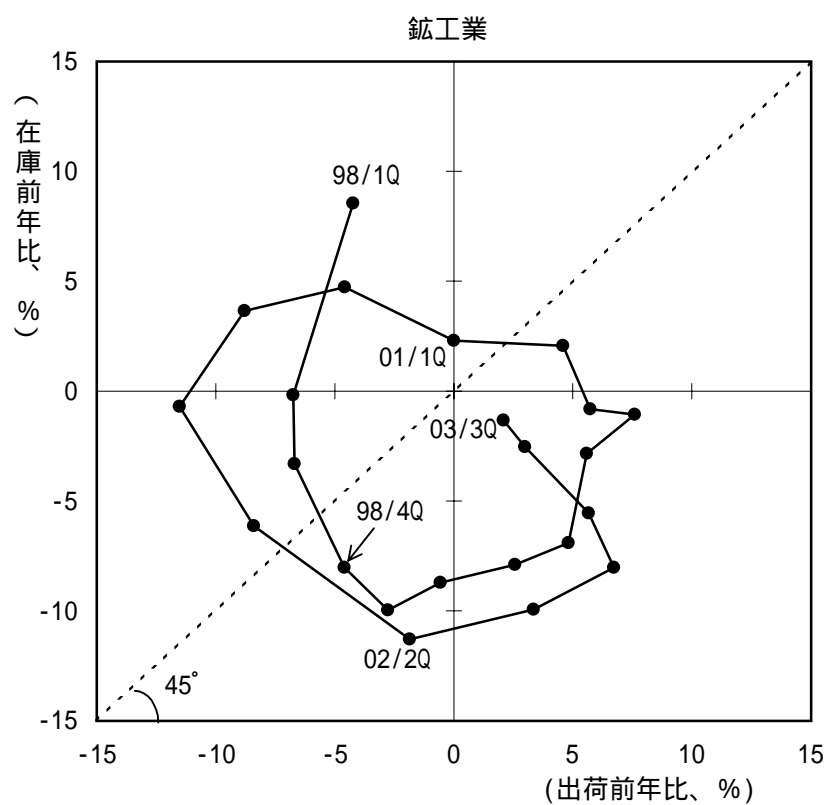


在庫循環

(1) 1993/1Q ~ 1997/4Q

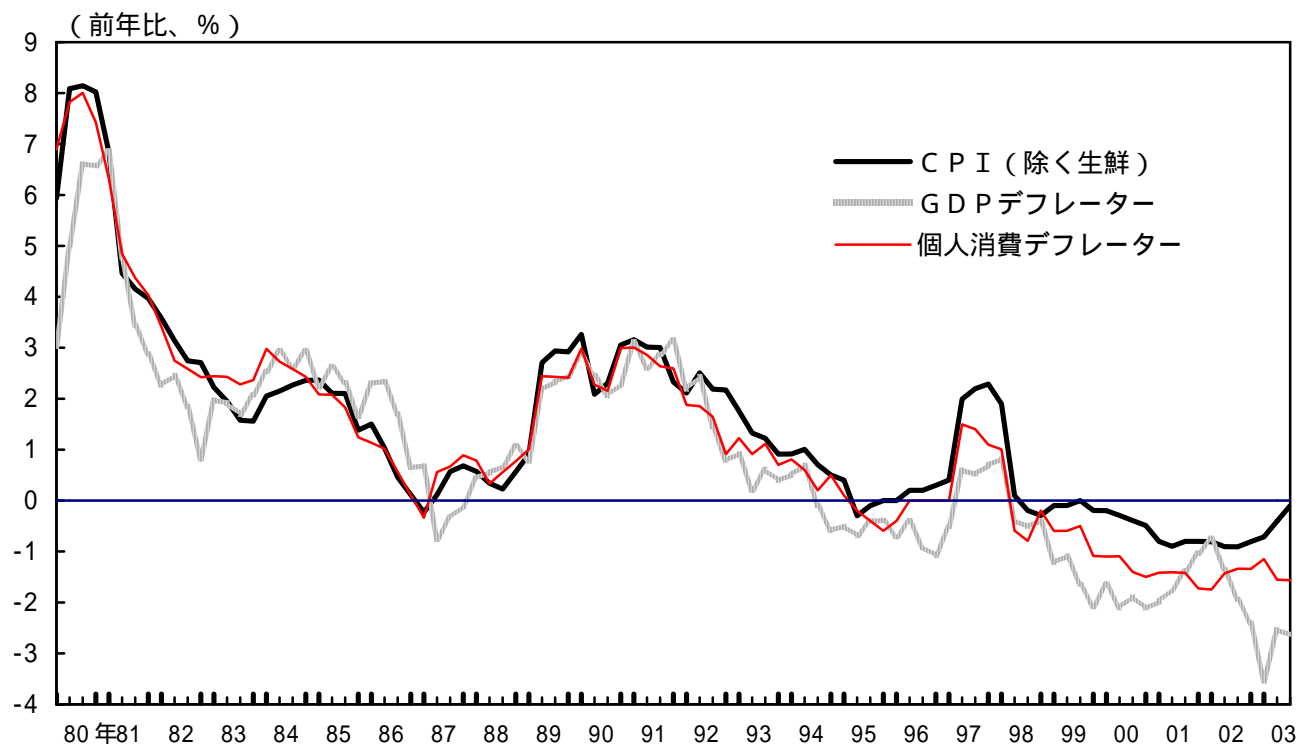


(2) 1998/1Q ~ 2003/3Q



(資料) 経済産業省「鋁工業指数統計」

CPIとGDPデフレーター

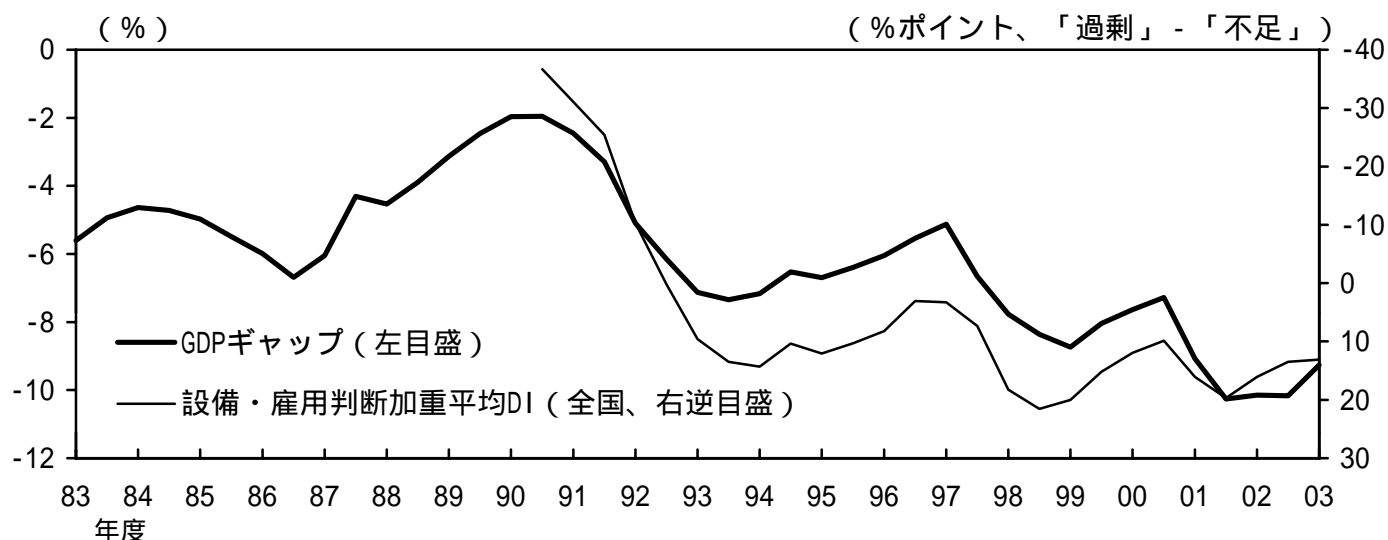


- (注) 1 . CPIの2000年以前は、95年基準の指数を使用している。消費税調整を行っていない。
 2 . デフレーターについては、1994年1-3月期～1999年10-12月期の値は、「参考系列」を使用している。

(資料) 内閣府「国民経済計算」、総務省「消費者物価指数」

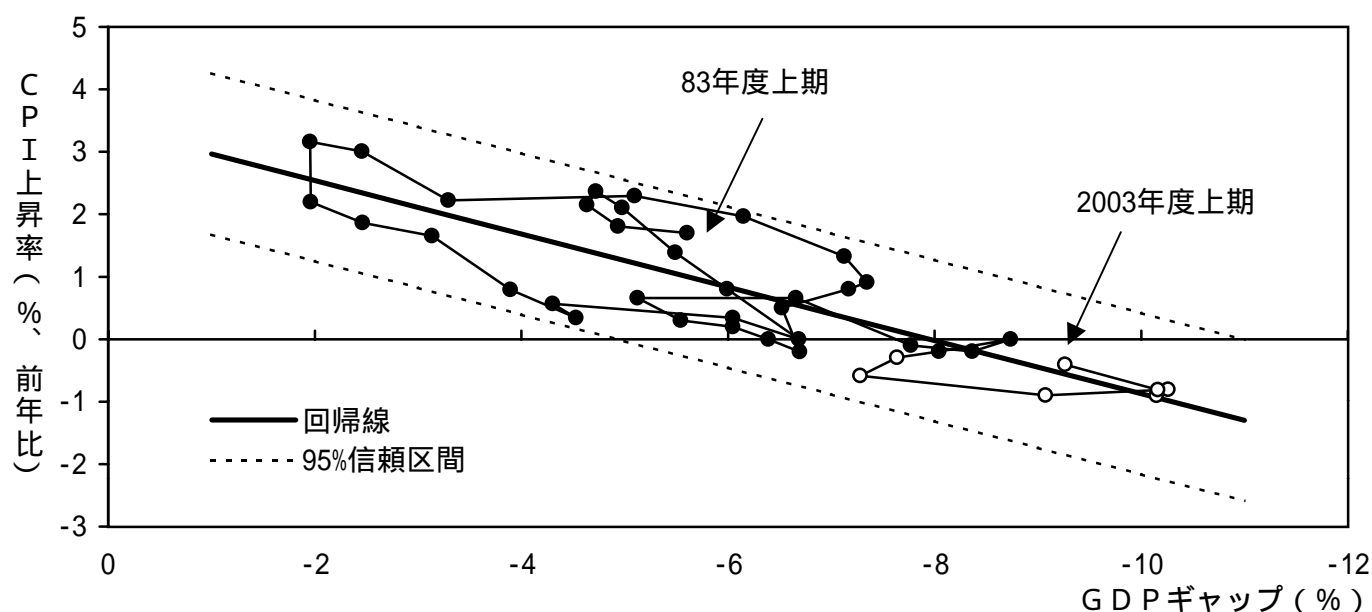
需給ギャップと物価

(1) G D P ギャップと短観加重平均 D . I .



- (注) 1 . 短観加重平均 D . I . は、短観における生産・営業用設備判断 D . I . と雇用人員判断 D . I . を資本・労働分配率 (90 ~ 01 年度平均) で加重平均したもの。なお、生産・営業用設備判断 D . I . の調査対象は、90/3Q 以前は製造業に限られていた。このため、非製造業にまで調査対象が拡大された 90/4Q 以降について、上記計数を算出している。
- 2 . 2003 年度上期の GDP ギャップは、4 ~ 6 月の値。
- 3 . G D P ギャップは、最大可能産出量との対比で計算されたもの (日本銀行調査統計局による試算) 。

(2) G D P ギャップと消費者物価指数



- (注) 1 . 推計式 : $C P I \text{ 上昇率} = 3.39 + 0.43 \times G D P \text{ ギャップ}$
(11.16) (8.96)

(サンプル : 83 年度上期 ~ 2002 年度下期、 R^2 : 0.68、標準誤差 : 0.65、括弧内は t 値。)

- 2 . C P I (総合除く生鮮食品) は消費税調整済み。2000 年までの前年比は 95 年基準に基づく。
- 3 . 散布図の期間は、83 年度上期 ~ 2003 年度上期。ただし、2003 年度上期は 4 ~ 6 月の値。
- 4 . 2000 年度上期以降については、白丸で表示してある。

(資料) 内閣府「国民経済計算」、「民間企業資本ストック」、経済産業省「鉱工業指数統計」、厚生労働省「毎月勤労統計」、総務省「消費者物価指数」、日本銀行「企業短期経済観測調査」等